

たかまつ市議会 レポート

REPORT

平成30(2018)年11月1日発行(第188号)

● 高松市議会ホームページ ●

<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kurashi/shigikai/index.html>

第29回日本パラ陸上競技選手権大会

9月1日・2日に、29回目となる日本パラ陸上競技選手権大会が屋島レクザムフィールドで開催され、約5,600人の観客を魅了しました。

今大会では、3つのアジア新記録、15の日本新記録が生まれるなど、国内最高峰の大会にふさわしい、ハイレベルな熱戦が繰り広げられました。



平成30年
9月定例会

秋号

目次

代表質問	2～4
質疑・一般質問ほか	5～7
情報BOX	8

定例会の日程

9月7日	開会、提案説明
12日	代表質問
13日	代表質問・質疑
14・18日	一般質問
19日	一般質問、特別・議会運営委員会審査
20・21日	常任委員会審査
26日	委員長報告・討論・採決、閉会

今定例会で決まった主な内容

- 市長提出議案
 - 補正予算
 - ▽市民の安全を確保するため、法令に不適合なものや損傷劣化が著しい小中学校など市有施設のブロック塀等を改修するための予算
 - ▽市民サービスの向上や職員の働き方改革を実現するため、保育施設の入所選考にAシステムを導入するための予算
 - ▽流通拠点としての卸売市場の機能強化を図るため、老朽化した青果棟再整備に係る用地購入のための予算
 - ▽平成30年7月豪雨に伴い被害を受けた道路の災害復旧工事を行うための予算
- 条例
 - ▽病院事業管理者が医療業務に従事する場合があることを考慮し、その給料調整額の月額上限額を見直すための条例改正

平成30年第4回高松市議会定例会は、9月7日から26日までの20日間の日程で開かれました。

今定例会では、平成30年度一般会計補正予算など17議案を可決するとともに、人事案件7件に同意したほか、議員提出議案2件及び継続審査としていた議員提出議案2件を否決、陳情2件のうち、1件を不採択、1件をみなす不採択としたほか、平成29年度一般会計・特別会計決算など5件を継続審査としました。

代表質問

各会派を代表して、4人の議員が質問しました。

質問者

質問の主な内容

自民党議員会

中村順一

政治姿勢、財政、まちづくり、防災、環境、観光振興、福祉、病院、教育

同志会

辻 正雄

政治姿勢、行財政、防災、環境、教育、農業、観光振興、病院

公明党

中村秀三

平和、SDGs推進、防災・減災、たかまつ創生総合戦略、共生社会ホストタウン、教育

市民フォーラム21

造田正彦

政治姿勢、県知事選挙、土地利用誘導、耕作放棄地、児童虐待、公共交通、多様性の尊重

政治姿勢

人口減少の克服

多くの人が「住みたい」「住み続けたい」と思う魅力あるまちづくりを進める

【問】子育て支援や移住・定住促進施策などの人口減少対策に積極的に取り組む考えは。

【謝証鋭】

人口減少の受けとめと、増加に転じさせる方策は。

【同志会】

【答】人口減少は、社会全般にわたり、深刻な影響を及ぼすもので、本市の総力を挙げて取り組むべき最重要課題と認識しており、平成27年にたかまつ創生総合戦略を策定し、「子どもを生ま育てやすいまちを創る」など、五つの目標を設定し、さまざまな施策を展開している。

今後、同戦略及び移住・定住促進方策に掲げる施策を着実に推進し、より多くの方が「住みたい」「住み続けたい」と思う魅力あるまちづくりを進め、人口減少の克服につなげる。

連携して利用促進等に取り組み、高松空港の発展と地域の活性化につなげる

【問】四国・瀬戸内ナンバワンの国際空港を目指し、本年4月から運営の民間委託がスタートした高松空港と周辺地域の、さらなる活性化に向けた、運営会社や県との連携は。

【同志会】

【答】県、運営会社のほか、本市や経済団体等で構成する協議会において、空港を起点とした交流人口の拡大を共通目標として取りまとめた「高松空港と地域の活性化プラン」の推進への協力など、さらなる利用促進等に取り組む、高松空港の飛躍・発展と地域の活性化につなげる。

戦争体験者の声や戦禍の状況等を次世代に伝える取り組みを継続的に推進する

【問】世代交代が進む中、薄れゆく戦争の記憶を次世代にどのように伝えていくのか。

【公明党】

【答】戦後70年余が経過し、戦争体験者が少なくなる中、戦争の悲惨さと平和のとうとさを風化させることなく、

次世代に伝えることが重要である。

このため、関係団体等の協力を得ながら、市民が集う機会を積極的に設け、語り部による講演会や、記録媒体の活用など、戦争体験者の声や戦禍の状況等をつかりと伝えていく取り組みを継続的に推進する。



平和記念館

まちづくり

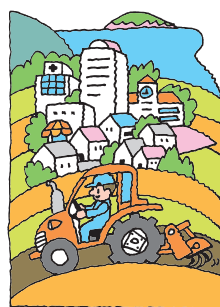
都市構造成約化に向けた施策を示し、理解と協力を得ながら実施していく

【問】コンパクトなまちづくりに向けて、規制だけが先行することなく、総合的に施策展開を図る考えは。

【謝証鋭】

立地適正化計画の策定に伴う土地利用誘導に関する説明会をもって、市民の合意形成が図られたと考えているのか。

【市川大樹】



【答】規制策とあわせて行うべき誘導方策の説明が、方向性を示すにとどまったこともあり、地域の活性化を阻害する懸念を取り除くまでに至らなかったことから、居住誘導区域内へ居住等を緩やかに誘導していく効果的な支援等制度の創設や、郊外部における農業の担い手の支援方策などの具体化に向けて検討を進めている。今後、都市構造成約化に向けた総合的な施策をわかりやすく示し、理解と協力を得ながら、可能なものから実施していく。

農地の集積・集約化を加速させるため、マッチング充実や担い手確保に取り組む

【問】農業従事者の高齢化や少子化による後継者不足等の理由で耕作放棄地がふえる中、農地の集積・集約化に本市として積極的に取り組む考えは。

【市議会】

【答】農地の集積・集約化を加速させるため、平成26年度から配置している2名の農地集積専門員の活動等による農地の借り手と貸し手のマッチングの充実や、国の支援策を活用した新規就農者の確保、認定農業者等への助成など、担い手の確保・育成に、鋭意、取り組む。

気候変動対策に積極的に取り組む連携組織への参加に向けて検討する

【問】脱炭素社会の実現に向け設立された、国内企業や自治体等の連携組織である「気候変動イニシアティブ」の取り組みに、本市も地球温暖化防止を推進する都市として参加する考えは。

【市議会】

【答】昨年3月に地球温暖化対策実行計画を改定し、将来的な脱炭素社会の構築を目指す本市にとって、気候変動対策に積極的な企業等

との連携は重要であり、その先駆的な取り組みを共有できるメリットがあることから、今後、参加に向けて検討する。

中央通りの分離帯緑化

芝生の緑化方策を調査研究し、美観確保のため、国と管理方法等の協議を続ける

【問】中央通り兵庫町商店街南の一区画の分離帯に植栽した芝生の生育状況と、築港から栗林公園までの全分離帯に芝生を植栽して緑化を図る上での課題は。

【同志会】

【答】現在、車道や歩道からの芝生の見ばえは、おおむね良好な状況である。

一方、芝生の植栽区画では、クスノキの樹勢への影響も見られたことから、その対策を講じながら、引き続き芝生の生育状態の観察や有効な緑化方策の調査研究を行うとともに、道路管理者の国と、芝生の管理方法等について協議を続ける。

地域とともに、コミュニティ交通の導入に向けて取り組む

【問】公共交通空白地域でのICTを利用した交通シス

テムの運行など、コミュニティ交通導入に向けた今後の取り組みは。

【市議会】



山田地区乗り合いタクシー「どんぐり号」

【答】より多くの人を利用してもらうとの共通認識を持ち、それぞれの地域の実情に適した持続可能な運行計画等が必要ことから、先進事例の情報提供や制度周知等を行い、地域とともに、その導入に向けて取り組む。

あわせて、コミュニティバスの新たな路線開設を支援する現行制度も、より有効活用できるように見直しを検討する。



防災

市民の生命や財産を守るため、さまざまな防災・減災対策を積極的に講じる

【問】これまでの想定を超える大規模災害が起きる可能性を十分考慮し、災害に強いまちづくりを進める決意は。

【市議会】

南海トラフ地震・直下型地震や頻発する台風、豪雨災害等に対する所見は。

【公明党】

【答】市民のとうとうと生命や貴重な財産を災害から守るため、地域防災計画の見直しや、地域における実践的な防災訓練、災害時の早期避難の啓発など、さまざまな防災・減災対策を積極的に講じること、災害に強いまちづくりに、鋭意、取り組む。

【問】災害が限定的な場合には、ボランティアセンターが設置されず、民間のボランティア団体等が地域での被災者支援を担うことも想定されるが、シャベルなどの資機材面で支援する考えは。

【公明党】

【答】これまでも、民間のボランティア団体の要請により、市社会福祉協議会が資機材等を随時、可能な範囲で貸し出しており、今後とも同協議会と連携しながら資機材の充実を図り、民間ボランティア団体への支援を行っていく。



スポーツ・観光

障がい者スポーツの裾野拡大などに一層努め、共生社会の実現に取り組む

【問】三つのアジア新記録が誕生するなど、大いに盛り上がった第29回日本パラ陸上競技選手権大会の所見と、共生社会ホストタウンの今後の取り組みは。

【公明党】

【答】国内最高峰の大会にふさわしい、ハイレベルな熱戦が繰り広げられ、多くの方に障がい者スポーツの魅力を感じてもらえる機会を提供できた。

今後、交流事業や体験型イベントなどを継続的かつ効果的にを行い、障がい者スポーツの裾野拡大や障がい者の社会参加促進に一層努め、本市が目指す共生社会の実現に取り組む。

にぎわい拠点の整備や既存の地域資源の活用で、塩江地区全体の活性化に努める

問 塩江温泉郷で市が整備予定の集客拠点を生かした塩江地区全体の活性化についての考えは。

【自民党】
自然の観光資源が豊富な塩江地区における、観光関連施設の具体的整備計画は。

【同志会】

答 「道の駅しおのえ」エリアでは、地区の顔となる観光交流拠点としての機能の導入を検討しており、上西地域は、奥の湯公園内での新たな温浴施設等の整備により、魅力的な集客拠点を目指している。

引き続き、地元等と連携し、にぎわいの核となる拠点整備の着実な推進とともに、これらの拠点を中心に、民間の温泉施設や豊かな自然など既存の地域資源等を総合的に活用する、地域全

体のマネジメント体制構築について検討するなど、塩江地区全体の活性化に努める。



温浴施設等の整備が予定されている奥の湯公園

福祉・医療

健康都市連合の全国大会を契機として、健康づくりへのさらなる機運醸成を図る

問 平成26年3月に策定した健康都市推進ビジョンの中間見直しに当たり、健康寿命の延伸と生活の質向上のための施策展開は。

【自民党】

答 若いときからの継続した健康づくり、栄養バランスや体力低下の改善、介護予防などへの取り組みを推進するとともに、来年7月に本市で開催される健康都

市連合の全国大会を契機として、市民の健康づくりへの、さらなる機運醸成を図っていく。

高松市立みんなの病院

市民に信頼され、親しまれる、ともに歩んで行く病院となるよう期待する

問 高松市民病院と香川診療所を移転統合した病院として、ことし9月1日に仏生山町に開院した、高松市立みんなの病院に寄せる市長の期待は。

【自民党】

答 持てる医療機能を十分に発揮し、良質で高度な医療を継続して提供することにも、さまざまな経営健全化にも取り組み、その名のとおり、市民に信頼され、親しまれる、皆様とともに歩んで行く病院となるよう期待する。

教育

さまざまな分野で、学校、家庭、地域の連携を強化していく

問 子供の人間力を高めるための、学校教育と家庭や

地域での教育の連携強化への取り組みは。

【同志会】

答 今年度より各小中学校に組織した高松型学校運営協議会の活性化や地域との合同防災訓練、登下校時の見守り活動など、学校、家庭、地域が一体となることで子供の成長を見守り、地域とともにある学校づくりに向け、さまざまな分野での連携を強化していく。

登下校時の荷物負担を軽減するため、学校の実情に応じて工夫するよう指導する

問 教科書の大形化やページ数増加等のため、非常に重くなっている小中学校の児童生徒の登下校時の荷物を、健康面等に配慮して軽くする考えは。

【公明党】

答 近年、副読本や資料集などもふえ、荷物が重くなっており、身体的負担の増大だけでなく、危険回避のおくれなど安全面にも配慮が必要と認識している。

登下校時の荷物負担を軽減するため、学校の実情に応じて、適切に判断し、工夫するよう、研修会等で指導する。

選挙

投票率向上

これまでの取り組みを粘り強く積み重ね、効果的な啓発に努める

問 8月26日実施の県知事選挙は、過去最低の投票率となったが、今後、どのように啓発していくのか。

【自由民主党】

答 先般、国において、電子投票やインターネット投票の導入など、投票率向上につながる具体的方策の議論がなされたが、費用や公正性の確保等課題があり、現段階では検討の必要があると聞いている。

このようなことから、これまでの取り組みを粘り強く積み重ね、関係機関とも連携を図り、若年層の投票率にも配慮しながら、より効果的な啓発に努める。



質 疑

今定例会に提出された議案について、3人の議員が質疑しました。

藤沢やよい
(日本共産党)

奥の湯公園

●問 塩江町上西地域の奥の湯公園に温浴施設を整備するに至った経緯は。

●答 土砂災害等に係る規制への対応に、おおむね解決

一 般 質 問

市政の、さまざまな課題について、11人の議員が質問しました。



森谷忠造
(自民党議員会)

高齢者施設の避難体制確保

●問 浸水想定区域などにおける高齢者施設への避難体制確保のための指導の現状と今後の対策は。

●答 昨年6月の法改正で避難確保計画の作成及び避難訓練の実施が義務化された235施設のうち、約半数の計画未作成施設に対し指導した。

今後、さらに指導・助言等を徹底し、災害発生時に施設利用者等が迅速に避難行動を行い、安全確保を図



のめどが立ったことや、同公園内における源泉を有効活用できる可能性が見出せたことなどから、新しい温浴施設の整備を目指す。
●他 ICT教育、保育施設のAI入所選考、市民プール、高松テルサ

植田真紀
(市民派改革ネット)

高松テルサ

●問 高松テルサを閉館して、その土地・建物を来年4月から穴吹学園に貸し付けするに当たり、建物と駐車場の貸付料相当分、年約5千100万円を減額せず、適正な貸付料とする考えは。

●答 外壁と、つり天井の改修を除き、貸主として市の負担が想定される維持管理や修繕費用に関し、原則、同学園に負担を求めることとする一方、建物と駐車場



られるよう努める。
●他 耕作放棄地、日台交流

の貸付料相当分は減額する。
●他 奥の湯公園、市民プール、桃川ダム、工事請負契約



太田安由美
(市民派改革ネット)

保育士の処遇改善

●問 働く親が安心して子供を産み育てられるように、確実に保育士を確保するた



三笠輝彦
(同志会)

成合六条線整備

●問 成合六条線における国道32号から国道193号までの未着手区間の早期着工を県に働きかける考えは。

●答 香川インテリジェントパーク東詰めから主要地方道高松長尾大内線までの六条工区の進捗状況等により、

め、根本的な処遇改善を行う考えは。

●答 国が必要な措置を講ずるべき内容であり、市独自で実施する考えはないが、さまざまな機会を捉えて、国に処遇改善の充実を要望する。

●他 保育施設のAI入所選考、保育ニーズ調査、食肉センター、住宅確保要配慮者



現段階では事業の具体化までに至っていないが、本市中部地域の東西アクセスを向上させる重要路線のため、引き続き、早期の事業着手を強く働きかける。
●他 立地適正化計画、競輪事業

早期の事業着手を



妊産婦用優先駐車場



中西俊介
(市民フォーラム21)



答 国のガイドラインに沿った地域防災計画の見直しのほか、市民一人一人が、居住地域の災害特性をハザードマップで確認し、避難訓練に積極的に参加するよう周知することにより、迅速な避難行動につなげる。
他 障がい者雇用、ふるさと納税、成人式、国際交流

問 自分は大丈夫と思い込む心理傾向があることを前提として、市民の防災意識を高め、迅速な避難行動を促し、逃げおくれゼロを目指す考えは。

災害時の逃げおくれゼロ



竹内俊彦
(公明党)

問 誰もが子育てしやすい環境づくりを推進するため、母親に限定されている妊産婦用優先駐車場の利用対象者を、ゼロ歳児の同伴者に拡大する考えは。

答 同駐車場の利用対象者を、乳児を連れた、配慮が必要と思われる母親以外の保護者等にも拡大するよう、当該事業の実施主体と協議する。

他 防災、ICT活用



市営住宅建てかえ



岡田まなみ
(日本共産党)

問 市営住宅の上之町A・C団地について、市民との約束を誠実に履行し、早急に建てかえることを明言する考えは。

国道11号の植栽管理



西岡章夫
(自民党議員会)

問 国分寺地区の国道11号中央分離帯に植栽された街路樹を、本市の西の入り口にふさわしいものとなるよう管理していく考えは。

答 道路管理者の国からは、引き続き、地域の実情や意見を踏まえ、適切な維持管



答 市内中心部に近く、公共交通の利便性がよい等、高い入居ニーズが想定される優先的に建てかえる計画としている。
引き続き、課題となる工事車両進入路の確保のための用地取得も含めて、検討を進める。
他 政治姿勢、子供の医療費、地域経済、教育

琴電新駅整備

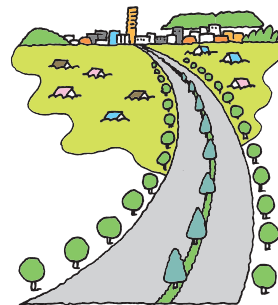


十川信孝
(自民党議員会)

問 早期完成が望まれる琴電三条―太田駅間の新駅整備の進捗状況は。

答 本市が行う駅前広場整備は、来年度から工事を進める予定で、琴電などが進める駅舎整備と複線化事業は、本年10月からの着手と聞いている。

本事業の推進には、地元関係者の理解と協力が重要



理に努めたい旨を伺っていることから、地域の良好な町並みの保全を一層推進するよう働きかけていく。
他 7月豪雨、公務員の定年、在宅医療、平成の最後、消費税改定、石清尾山古墳群

簡易給食の中身充実



吉峰幸夫
(市民フォーラム21)

問 夏季休業後に実施される簡易給食について、通常の給食費と同額を徴収しているならば、もっと中身を充実させる考えは。

答 調理場を使わず提供できること等を考慮した献立のため制限はあるが、児童生徒及び保護者へのアンケート結果を参考に、可能な範囲で献立内容を工夫する。
他 公文書、障がい者雇用、林幼稚園・保育所の駐車場、メンタルヘルス、全国学力



であることから、丁寧な説明に努め、早期完成を目指す。
他 マイナナンバーカード、読書活動、防災対策



地域まちづくり交付金
問 地域コミュニティ協議会が地域課題の解決に主体的に取り組む上で、地域まちづくり交付金に係る、煩雑な事務手続や対象経費の見直し等が喫緊の課題だが、今後の対応は。



白石義人
 (自民党議員会)



テスト、給食費徴収事務、教職員の働き方改革

答 昨年、ステージイベントに出演し、にぎわいを創出した同ユニットや、今年の総おどり会場を盛り上げ



高松まつり
問 「盆栽たいそう」で世界的に有名となったガールズユニット「ボンクラ」の活用など、年々観客数が減っている高松まつりを盛り上げていく取り組みは。



坂下旦人
 (自民党議員会)

答 同交付金が地域にとって一層活用しやすくなるよう、市コミュニティ協議会連合会と協議しながら、事務手続等の改善や、より主体的な運用に向けた制度の見直しを、鋭意、進める。
他 免税手続一括カウンター、冬季スポーツの振興



答 仏生山の本町通り沿線の住民や関係者のさらなる意識醸成を図りながら、その協働のもと、歴史ある町並みを保全・創出し、良好な景観を形成していく。
他 子供のための博物館等誘致、体験型観光、防災対策

仏生山歴史街道
問 開院したみんなの病院や整備予定の地域交流センターが創出する仏生山駅がいわゆるにぎわいを、仏生山歴史街道へと波及させるための今後の取り組みは。



小比賀勝博
 (自民党議員会)

た地域プロスポーツチームのほか、多種多様な団体の参画を得て、より一層盛り上がるよう、検討する。
他 教育、防災、福祉、まちづくり

賛否が分かれた議案等審議結果一覧

今定例会では審議の結果、議案等のうち10件について、採決に当たり次のとおり賛否が分されました。賛否については、賛成の場合は○を、反対の場合は×を表示しております。

件 名	議 決 結果等	党派別賛否						
		自民党 議員会	同志会	公明党	市 民 フォーラム21	日 本 共産党	市民派 改革ネット	無所属
市長提出 議 案	平成30年度高松市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	×	×	○
	平成30年度高松市競輪事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	×	×	○
	平成30年度高松市中小企業勤労者福祉共済事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	×	○	○
	工事請負契約について(史跡高松城跡桜御門復元整備工事)	継続審査	○	○	○	×	×	○
議員提出 議 案	財産の減額貸付けについて	可決	○	○	○	×	×	○
	高松市議会基本条例の一部改正について	否決	×	×	×	○	○	×
	高松市議会会議規則の一部改正について	否決	×	×	×	○	○	×
	被災者生活再建支援法改正案の早期成立を求める意見書	否決	×	×	×	○	○	×
陳 情	国などによる障害者雇用水増し問題の徹底した真相解明を求める意見書	否決	×	×	×	○	○	×
	海外行政視察に関して市民向け報告会の開催を求める陳情	不採択	×	×	×	○	○	×

※全議案等の審議結果については、市議会ホームページをご覧ください。

委員会の活動など

●調査会

重要な施策などについて、常任委員会ごとに説明を受ける会で、次のとおり開かれました。

総務	9月20日	高松市水環境基本計画等及び高松市水環境協議会の見直し等について
教育民生	7月26日	高松市健康都市推進ビジョン中間評価及び見直しの方向性について 市立小中学校のブロック塀の現状と対応について
	9月21日	「高松市立幼保連携型認定こども園整備基本計画」(2016.03策定)後期計画期間(2020～2024)整備方針について 高松市手話言語及び障害者のコミュニケーションに関する条例(仮称)の骨子案について
経済環境	8月28日	高松テルサの再編整備実施計画(案)について
	9月20日	屋島山上拠点施設(仮称)の管理運営について

●議会運営委員会

7月2日・27日、8月7日・27日に、議会運営の改善等について協議しました。

決算審査特別委員会

平成29年度の決算を審査するため、特別委員会を設置しました。委員は次のとおりです。

(定数10人)

◎大西 智(マウラム21) ○橋本 浩之(畠賢葵)
妻鹿 常男(同志会) 辻 正雄(同志会)
藤原 正雄(畠賢葵) 中村 伸一(公明党)
白石 義人(畠賢葵) 坂下 且人(畠賢葵)
中村 秀三(公明党) 杉本 勝利(畠賢葵)
(◎委員長 ○副委員長)

人事案件

次のとおり推薦に同意しました。

人権擁護委員候補者

岡下 敬子氏 荒谷 節子氏
平田 くみ江氏 吉原 忠男氏
國方 育子氏 橋本 佳子氏
山崎 美恵子氏

市民との意見交換会の開催について

市政に関する4つのテーマについて、議員と一緒に考えてみませんか。

●とき 11月16日(金) 13時30分～15時

●ところ 市役所13階 大会議室

～若者から選ばれるまちを創る～
移住・定住の促進について

(総務常任委員会所管)

～地域まるごとつながりの支援～
地域共生社会の実現に向けた
包括的支援体制の構築について

(教育民生常任委員会所管)

～食品廃棄物の減量・再資源化～
食品ロス削減に向けた取り組みについて

(経済環境常任委員会所管)

～身近な公園整備～

緑豊かなまちづくりの推進について

(建設消防常任委員会所管)

テーマ
の内容

どなたでもご参加いただけます。皆様お誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。

●お問い合わせ

詳細につきましては、議事課(☎839-2808)までお問い合わせください。

